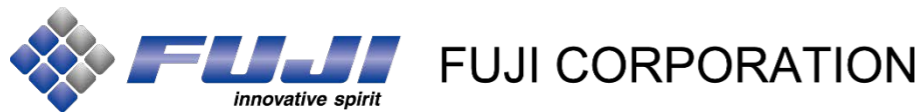


東証プライム・名証プレミア

証券コード：6134

2022年度上期 株式会社 FUJI 決算説明資料

2022年11月



目次

- ◆ 1. 2022年度 上期決算概要
- ◆ 2. 2022年度 通期業績予想
- ◆ 3. 企業理念 その他



 1. 2022年度 上期決算概要

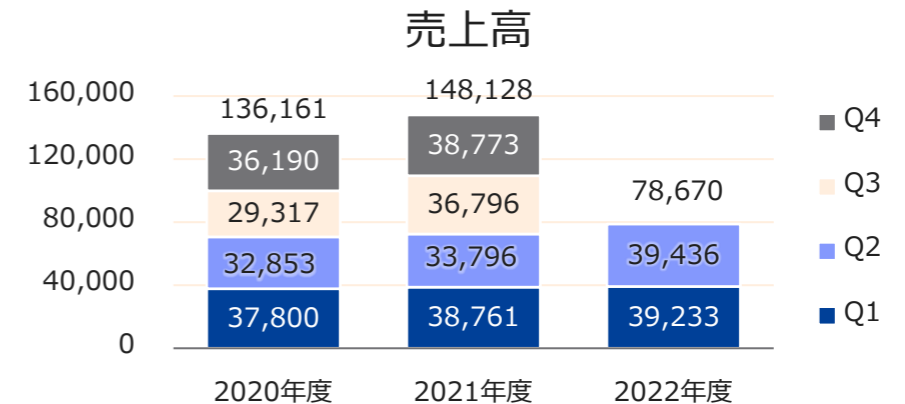
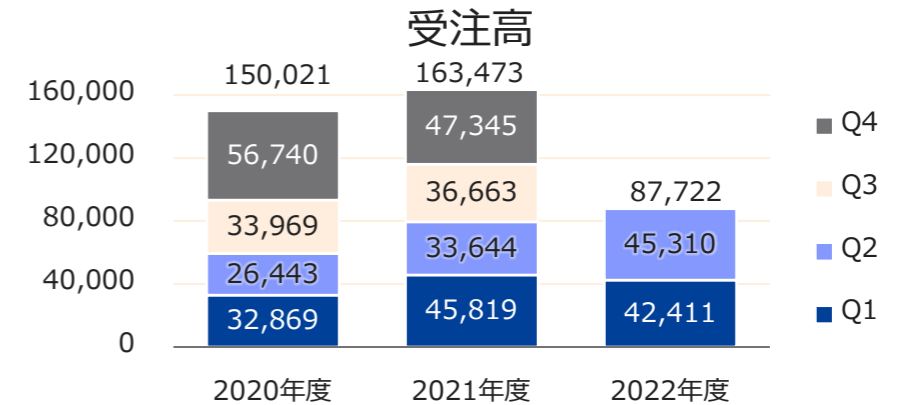


2022年度 上期業績

- 売上高は増加するも、材料費高騰の影響もあり営業利益は減少
- 一方、為替差益の影響で、経常および当期純利益は増加

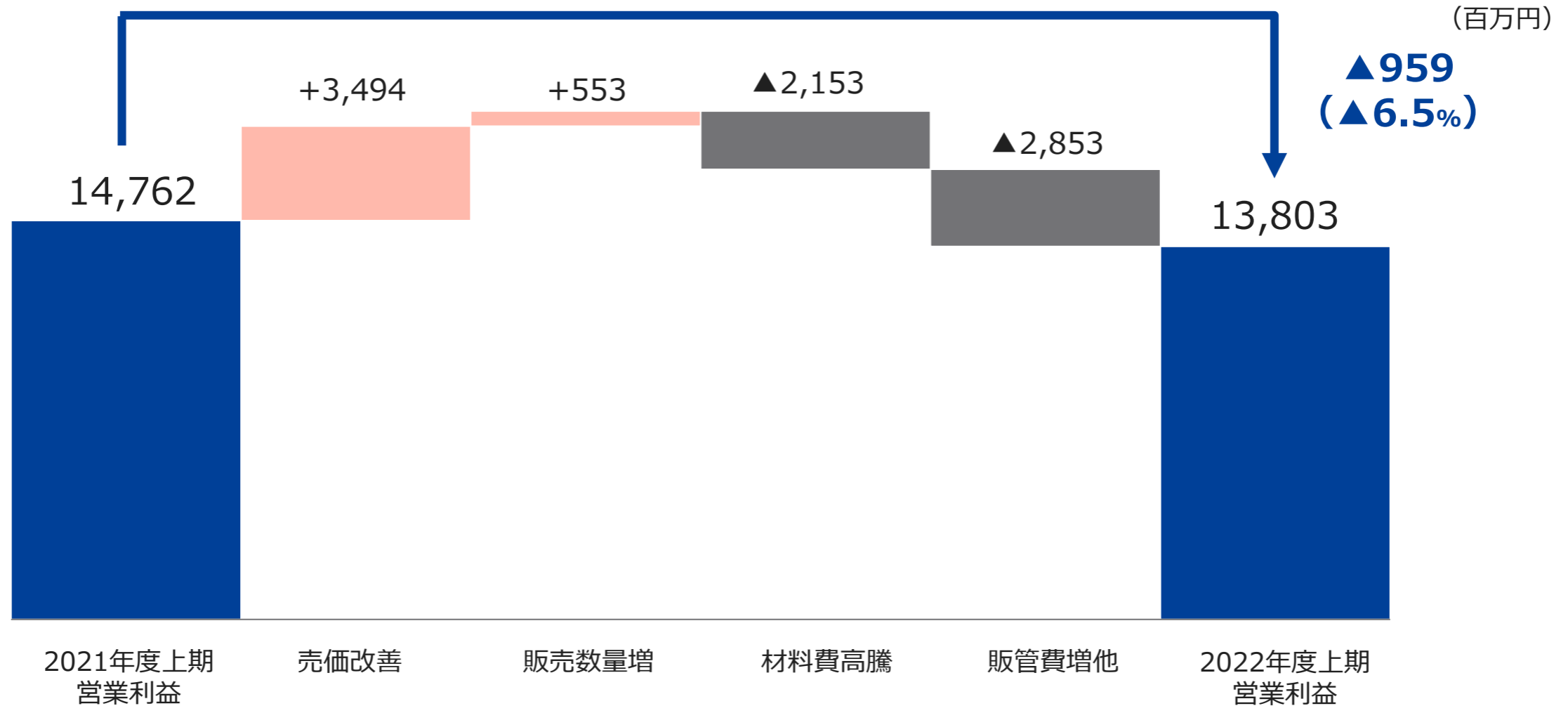
(百万円)

	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	79,464	87,722	+8,258	+10.4%
売上高	72,558	78,670	+6,111	+8.4%
営業利益	14,762	13,803	▲959	▲6.5%
経常利益	15,241	15,992	+751	+4.9%
当期純利益	11,165	11,180	+15	+0.1%



営業利益増減分析

■ 売価は改善するも、材料費高騰や販管増により959百万円の減益



ロボットソリューション事業

自動車や家電製品、通信端末など身近な電子製品。これらの製造に必要不可欠となるのが、プリント基板に電子部品を装着する電子部品実装ロボットです。

FASFORD
TECHNOLOGY



DBシリーズ

AIMEX III



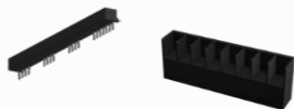
sFAB-SH



NXTR



NXT
Fiji Scalable Placement Platform



Copyright © 2022 by FUJI CORPORATION. All rights reserved.



ロボットソリューション事業

多様化するライフスタイルや少子高齢化をはじめとしたさまざまな社会問題にも着目し、多彩なソリューションを提供しております。

介護



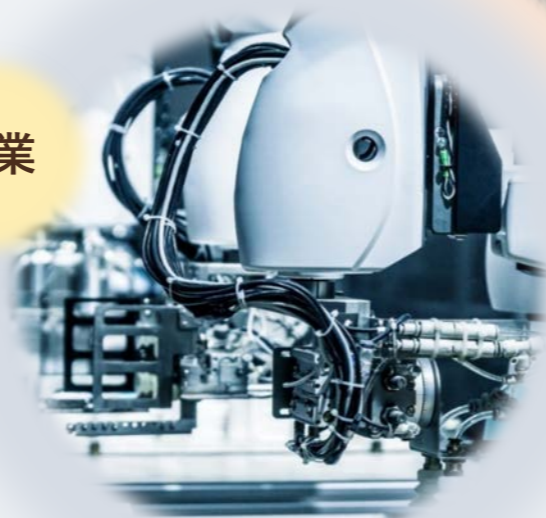
移乗サポートロボット

HuQ

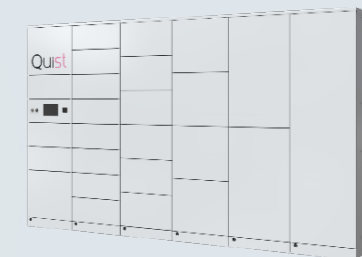


小型多関節ロボット
Smart Wing

産業



物流



パブリックロッカーシステム

Quist



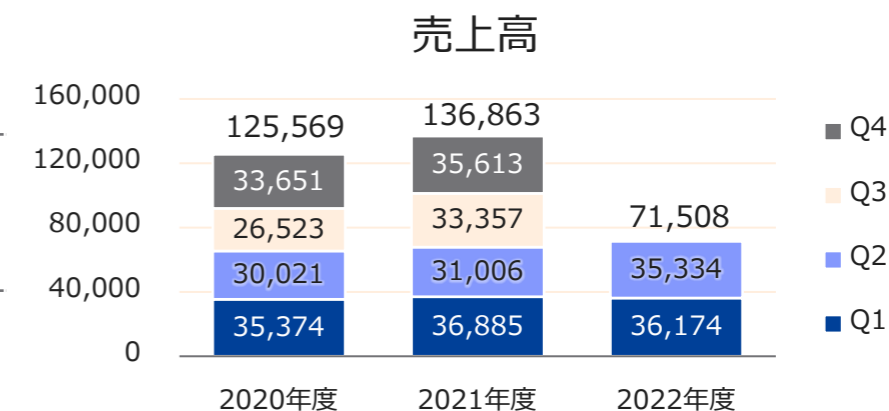
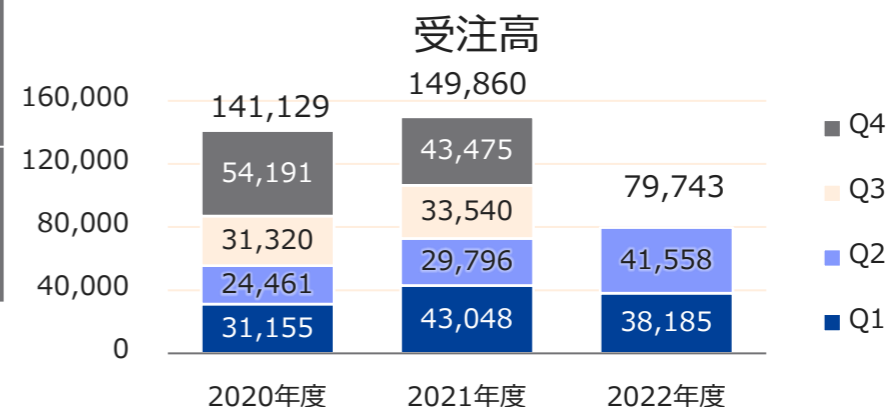
大気圧プラズマユニット
Tough Plasma

ロボットソリューション事業 業績

■ 電子部品実装ロボット市場は車載関連中心に堅調に推移。売価改善も寄与し売上高は半期ベースで過去最高となるも、材料費高騰の影響を受け営業利益は減少

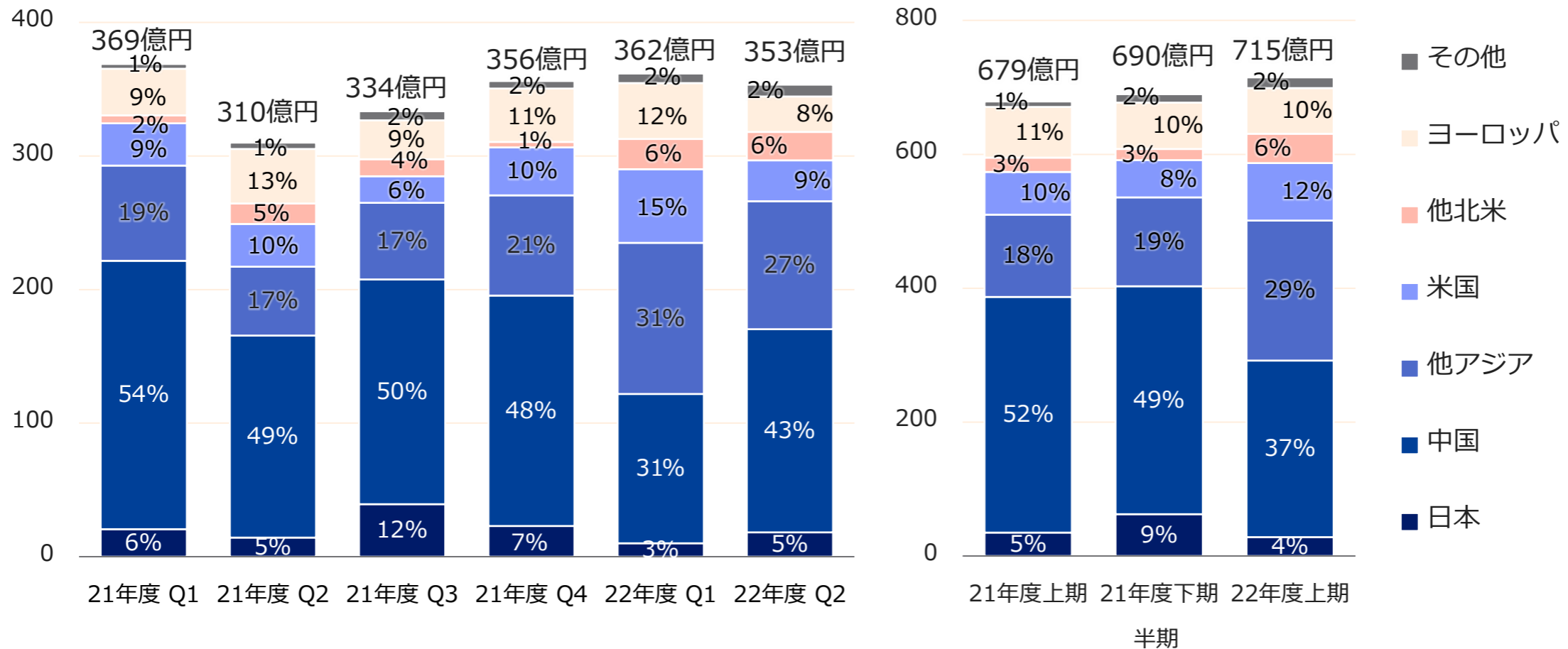
(百万円)

	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	72,844	79,743	+6,899	+9.5%
売上高	67,891	71,508	+3,617	+5.3%
営業利益	16,551	15,885	▲666	▲4.0%
受注残高	49,241	65,533	+16,291	+33.1%



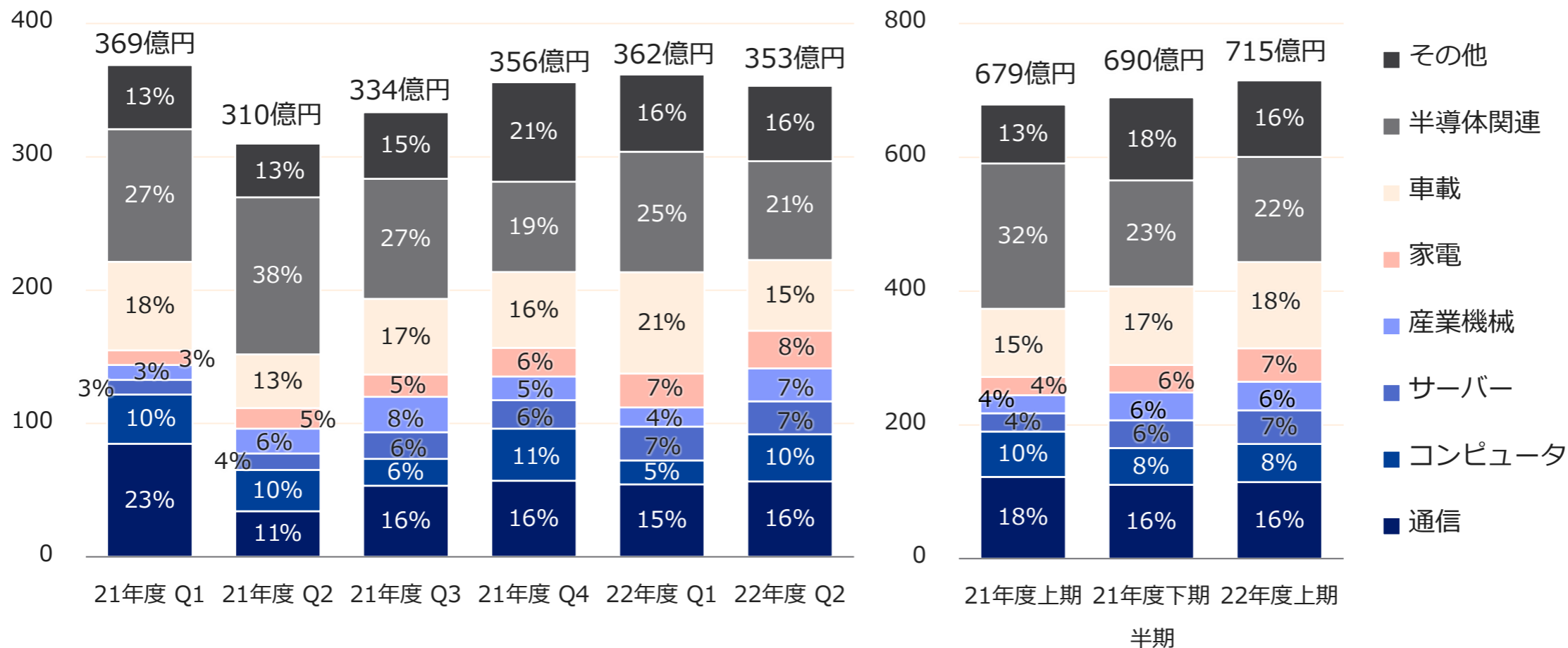
ロボットソリューション事業 地域別売上高

- 中国：Q1はロックダウンの影響を受け一時的に落ち込んだものの、Q2は回復
- 北米：車載、産業機器、通信インフラ向けの需要が堅調

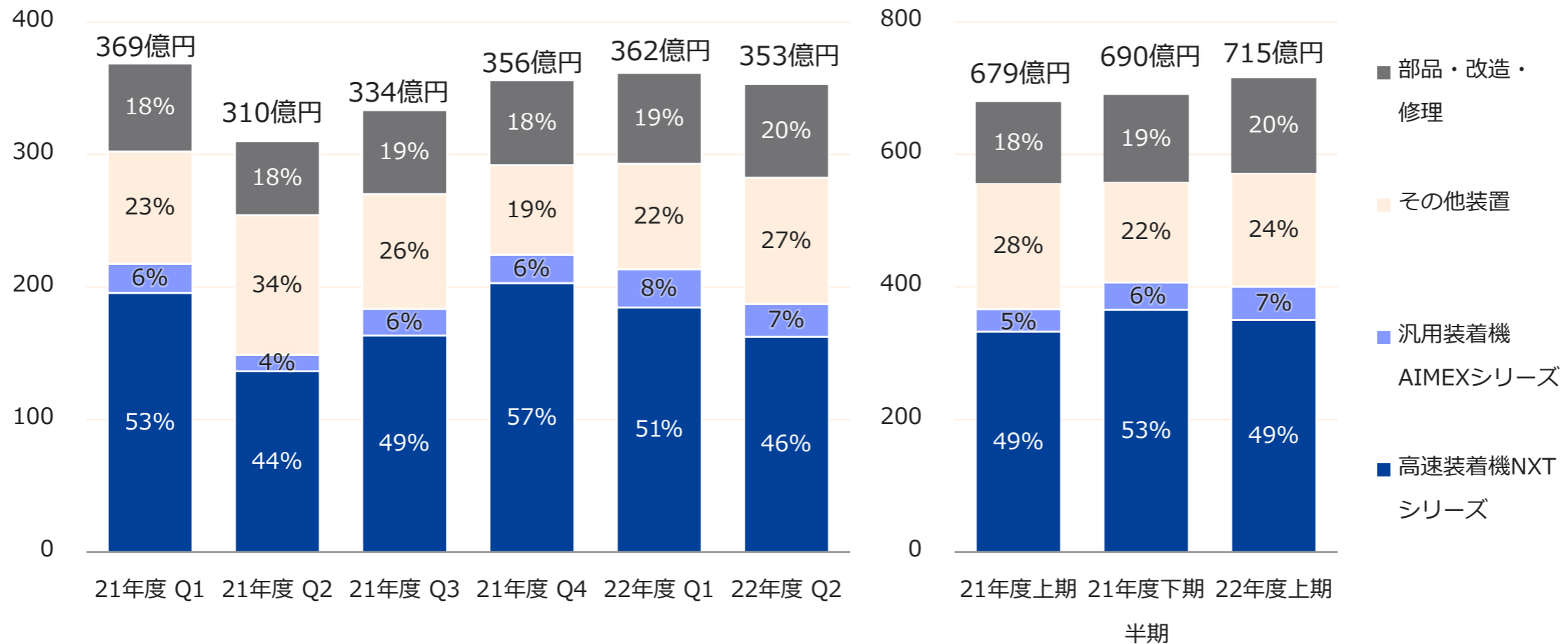


ロボットソリューション事業 業種別売上高

- 通信：スマートフォン向けの需要が軟調
- コンピュータ：中国での大型投資案件が貢献



ロボットソリューション事業 機種別売上高



マシンツール事業

自動車や産業用機械を構成する高精度な加工部品。これらを作り出すため金属素材を切削・加工する役割を担うのが「マザーマシン」とも呼ばれる工作機械です。



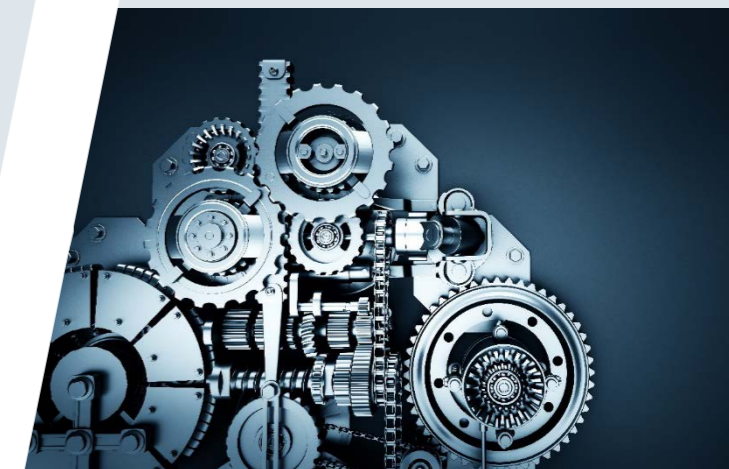
複合加工機

GYROFLEX



正面2スピンドル旋盤

CS SERIES

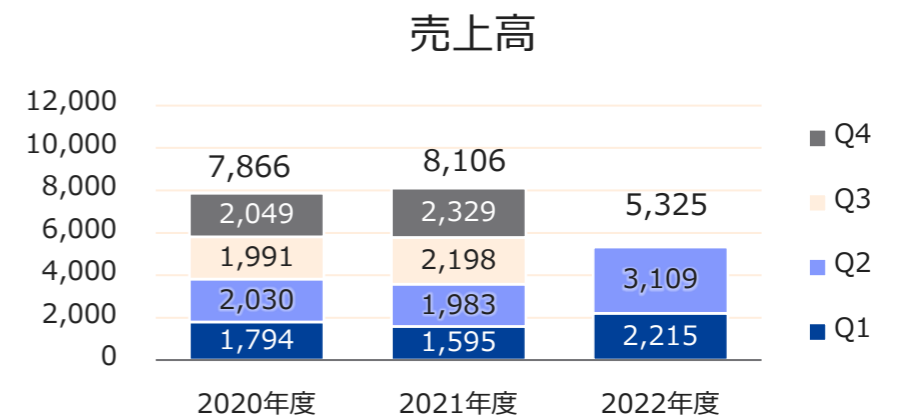
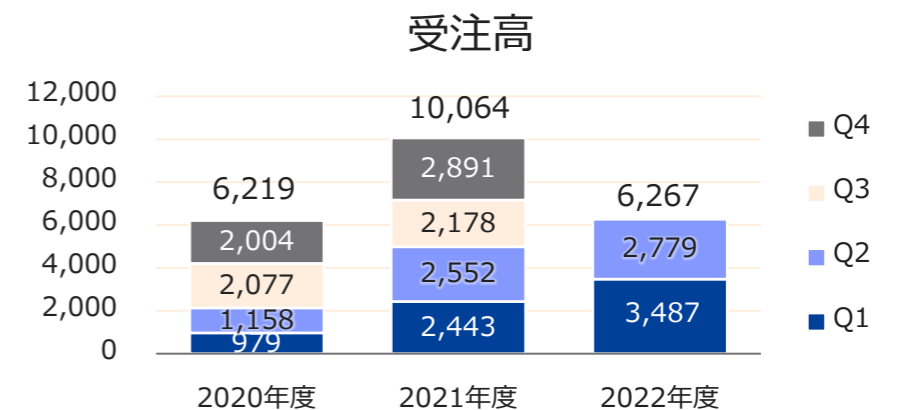


マシンツール事業 業績

- 北米を中心とする自動車関連の設備投資が増加
- 国内の改造工事が売上に寄与

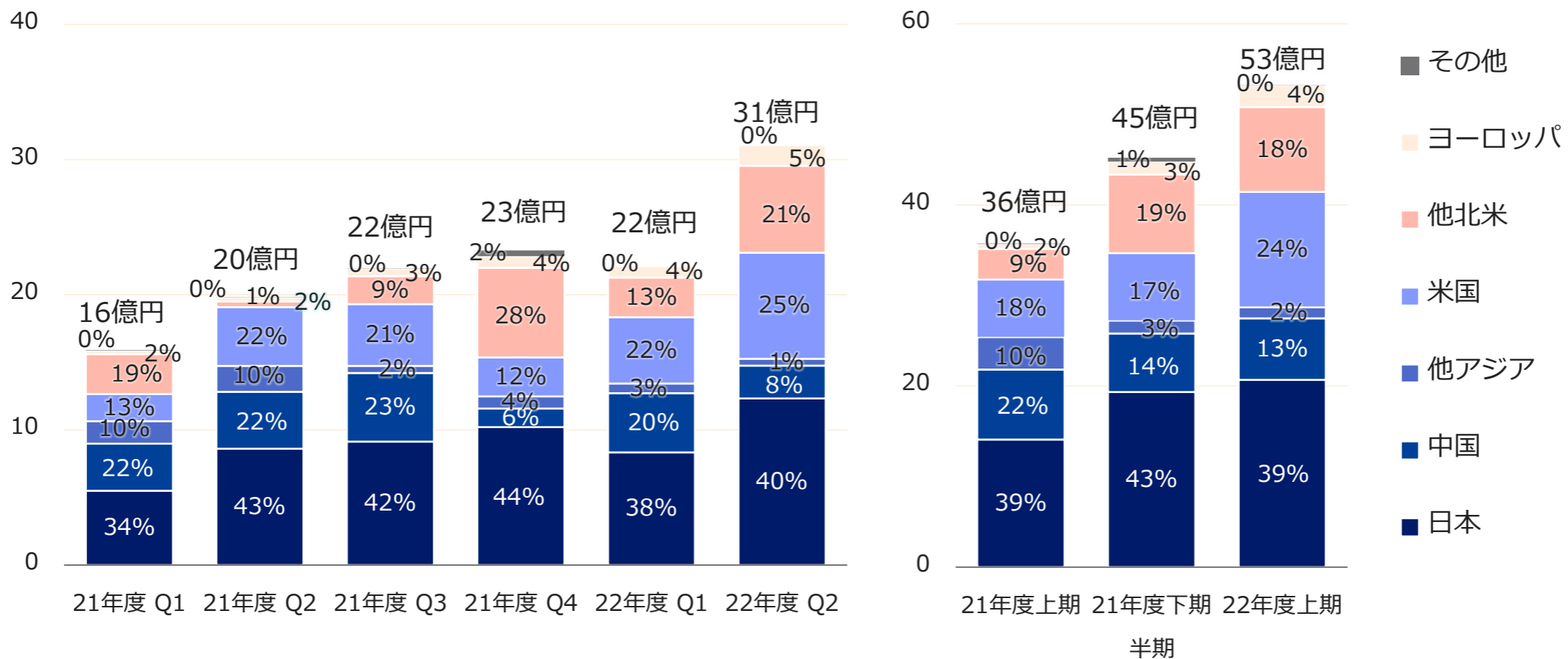
(百万円)

	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	4,995	6,267	+1,272	+25.5%
売上高	3,578	5,325	+1,747	+48.8%
営業利益	▲299	▲314	▲15	-
受注残高	5,103	6,586	+1,483	+29.1%

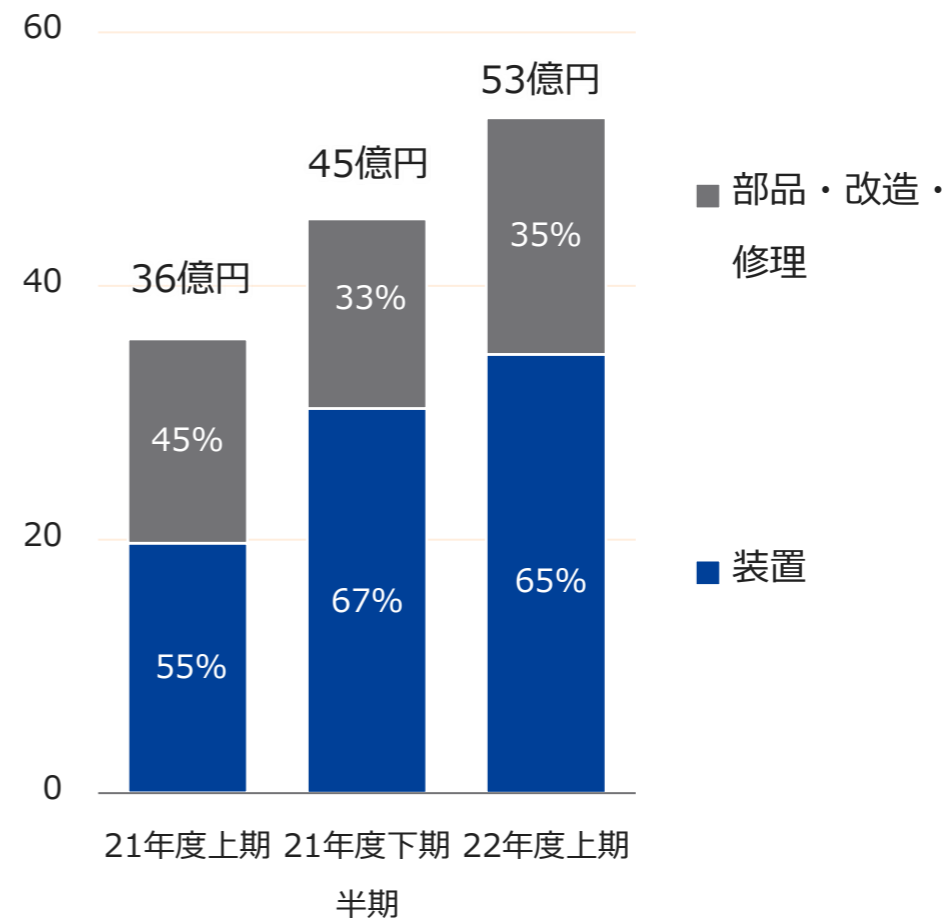
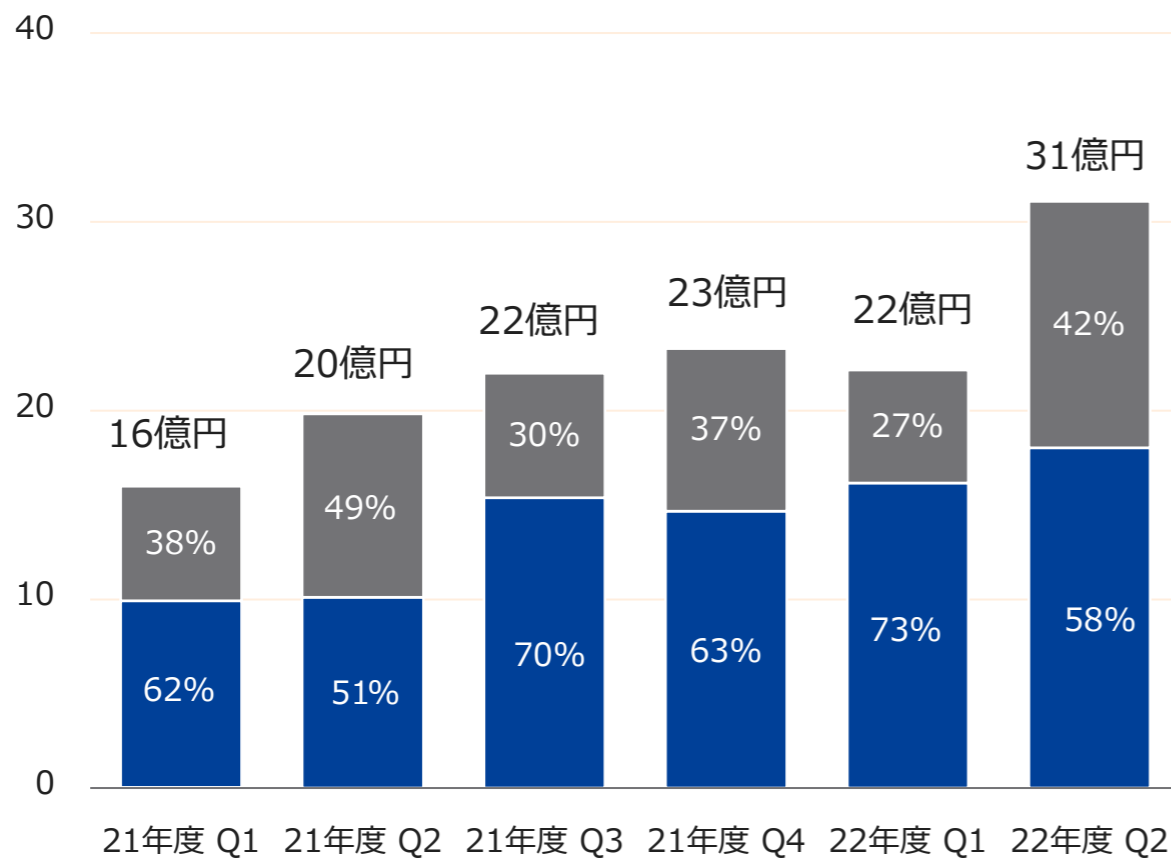


マシンツール事業 地域別売上高

- 米国：EVを中心とした自動車関連の設備投資が増加傾向
- 日本：設備投資への慎重姿勢が継続



マシンツール事業 機種別売上高



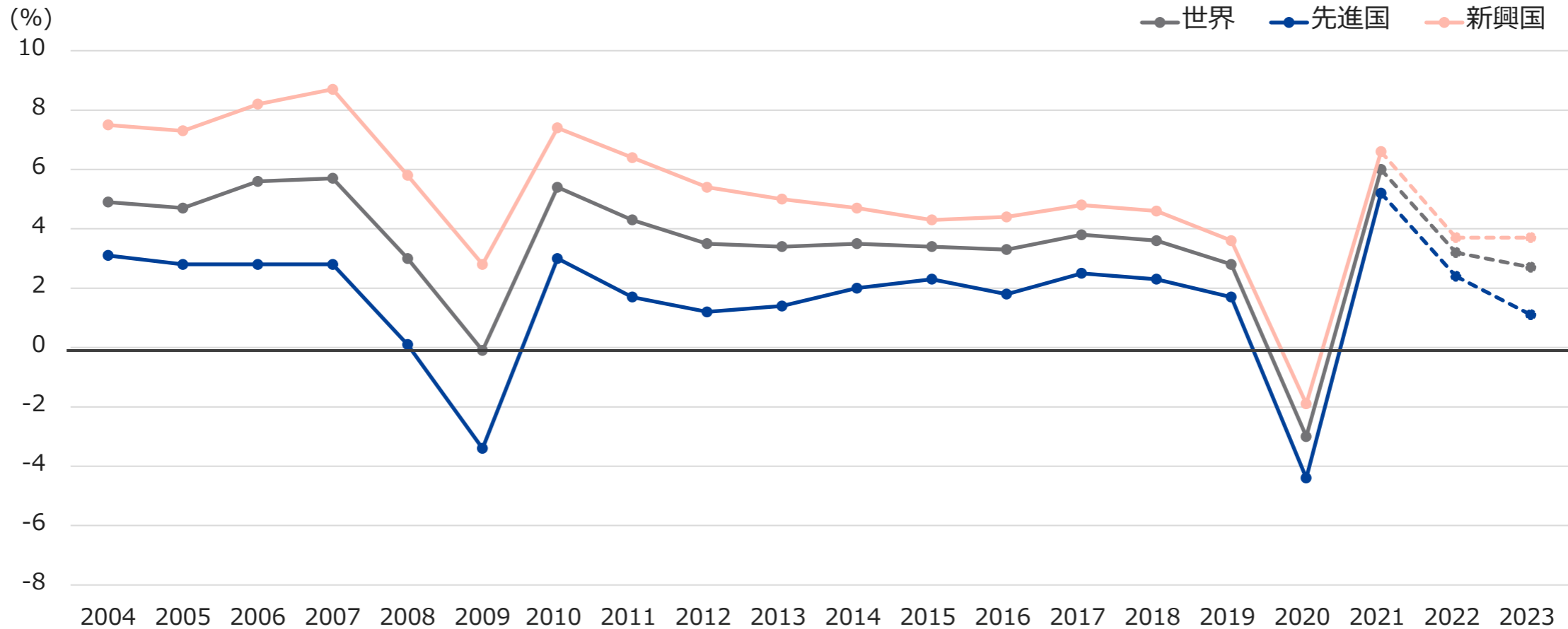


◆ 2. 2022年度 通期業績予想



世界の経済成長率

- 高水準のインフレ、金融政策の引き締め、ロシアのウクライナ侵攻、新型コロナウイルス再拡大の懸念等により、23年成長率予測を下方修正



出典 : IMF, World Economic Outlook, October 2022

通期業績予想

- 売上高に関しては変更ないものの、利益増加。
- 一方、中国を中心に景気の先行き不透明感が高まっていることを踏まえ、受注高見直し。

(百万円)

	2021年度 通期実績	2022年度通期予想				
		2022年8月5日 公表予想	今回予想	対前期実績		対従来予想
				増減額	増減率	増減額
受注高	163,473	161,000	148,000	▲15,473	▲9.5%	▲13,000
売上高	148,128	165,000	165,000	+16,871	+11.4%	±0
営業利益	28,472	29,200	30,000	+1,527	+5.4%	+800
営業利益率	19.2%	17.7%	18.2%	—	—	—
経常利益	29,943	30,600	32,000	+2,056	+6.9%	+1,400
当期純利益	21,188	21,800	22,400	+1,211	+5.7%	+600

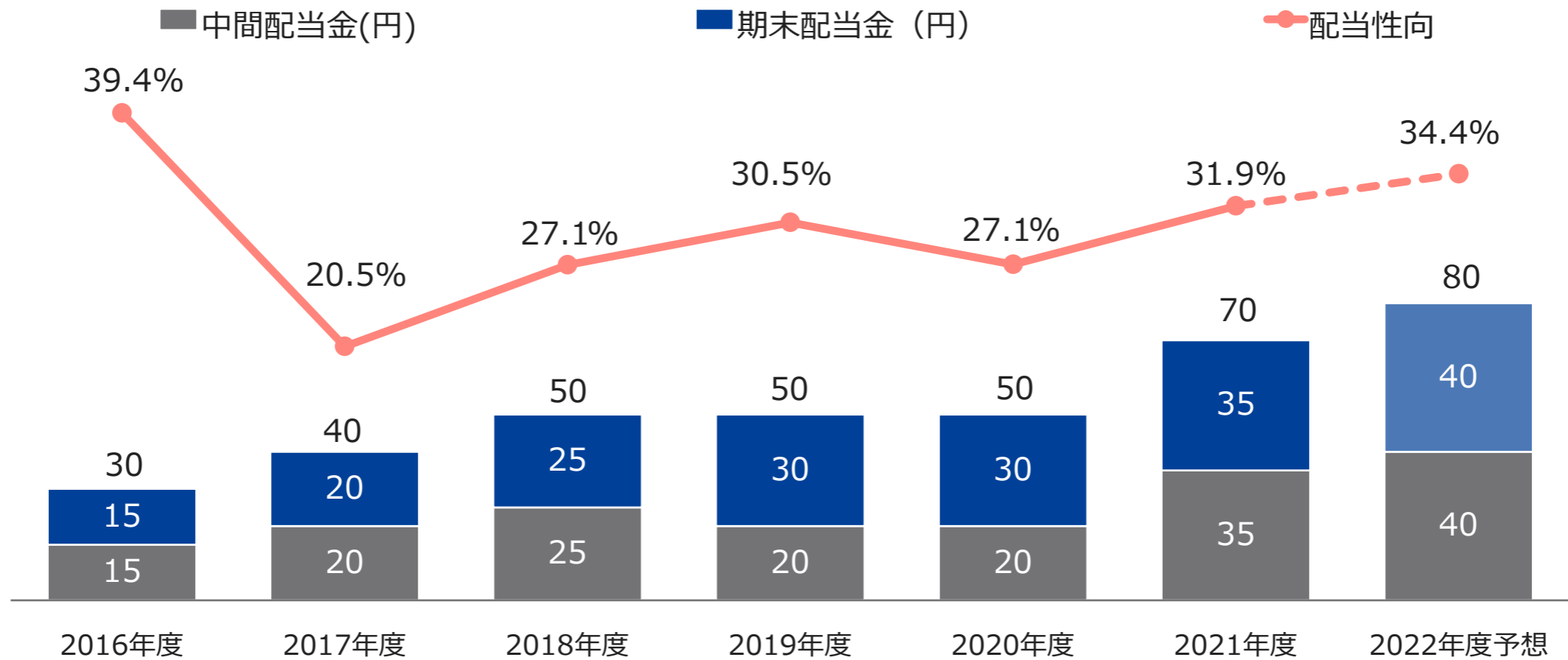
セグメント受注・売上通期予想

(百万円)

		2021年度 通期実績	2022年度通期予想				
			2022年8月5日 公表予想	今回予想	対前期実績		対従来予想
					増減額	増減率	増減額
ロボット ソリューション 事業	受注高	149,860	143,000	130,000	▲19,860	▲13.3%	▲13,000
	売上高	136,863	148,000	148,000	+11,136	+8.1%	±0
	受注残	57,298	52,298	39,298	▲18,000	▲31.4%	▲13,000
マシンツール 事業	受注高	10,064	14,500	14,500	+4,435	+44.1%	±0
	売上高	8,106	13,500	13,500	+5,393	+66.5%	±0
	受注残	5,644	6,644	6,644	+1,000	+17.7%	±0
その他 事業	受注高	3,547	3,500	3,500	▲47	▲1.4%	±0
	売上高	3,159	3,500	3,500	+340	+10.8%	±0
	受注残	649	649	649	±0	-	±0
合計	受注高	163,473	161,000	148,000	▲15,473	▲9.5%	▲13,000
	売上高	148,128	165,000	165,000	+16,871	+11.4%	±0
	受注残	63,592	59,592	46,592	▲17,000	▲26.7%	▲13,000

配当金

■ 配当金については変更なし



普通配当 40.00
記念配当 10.00



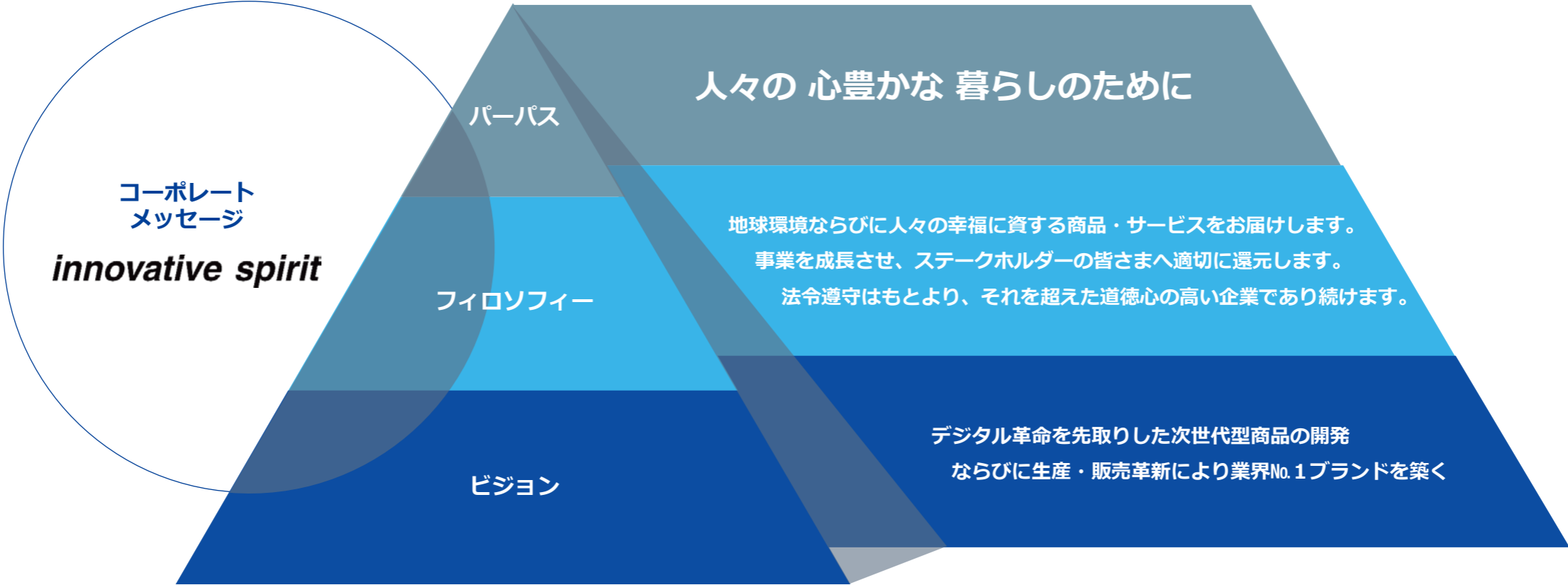
◆ 3. 企業理念 その他



企業理念

■ 人々の心豊かな暮らしのために、長年培ってきた技術・ノウハウを社会課題解決に活かす

● FUJIの企業理念体系



人的資本経営強化に向けて

- イノベーション創出の原動力となる、「人」の能力を存分に発揮できる仕組みを整備する
- 8月に「人的資本経営コンソーシアム」へ入会

●FUJIの人的資本経営強化の取り組み

柔軟な人事制度の構築

エキスパート職制度の導入

働き方の環境整備

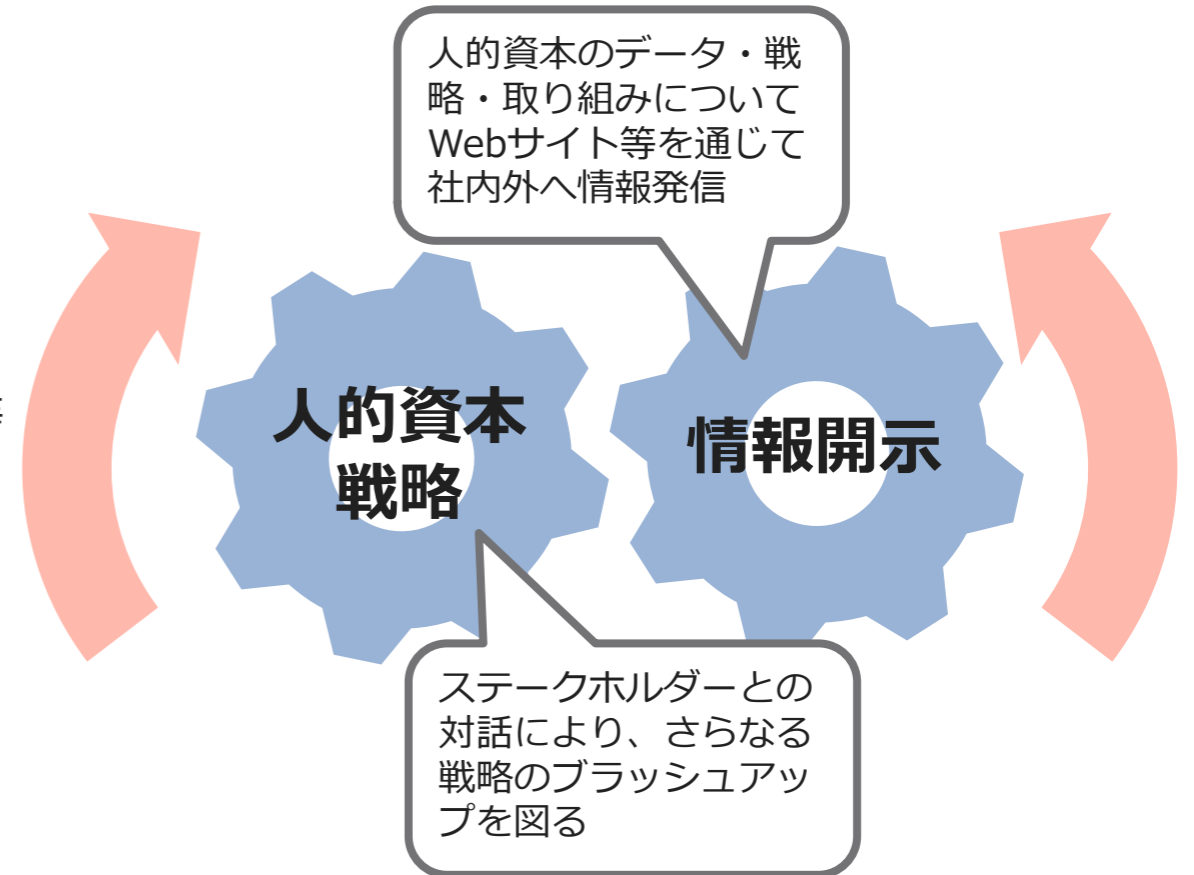
フレックス・テレワーク・中抜け制度・育児短時間制度の拡大等

DX人材の育成

「業革塾」の新設・統計講座・Python講座・RPA講座等

教育制度・自己成長支援の拡充

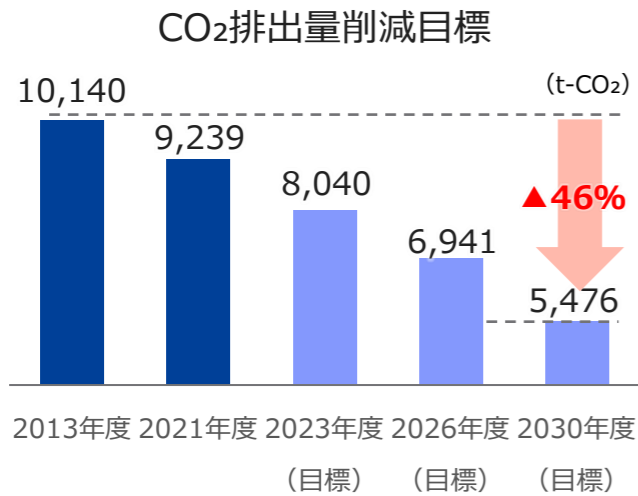
「創開塾」・IE教育・オンライン英会話・通信教育補助等



環境への対応

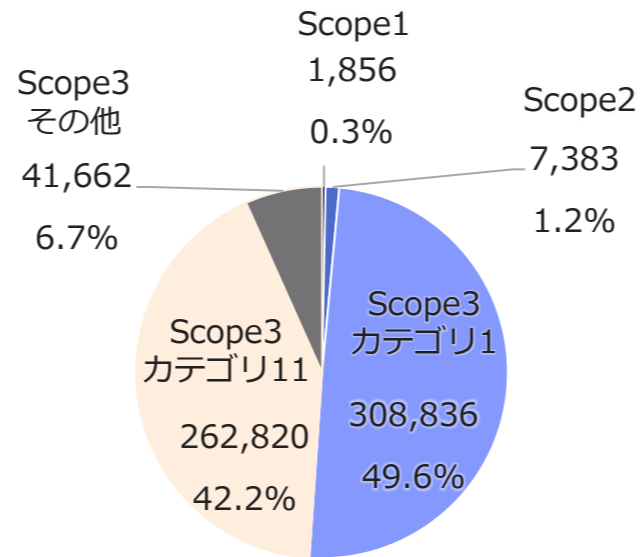
- 2022年6月 TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）への賛同を表明
- 環境中期目標 2030年度に46%削減を目指す（2013年度比Scope1・2）
- サプライチェーン全体のCO₂排出量削減に取り組む

● 環境中期目標



- 太陽光パネル
- カーボンフリー電力の購入

● Scope別CO₂排出量(t-CO₂)



- Scope1 自社での直接排出
- Scope2 自社でのエネルギー起源の間接排出
- Scope3 カテゴリ1 購入した製品・サービス
- Scope3 カテゴリ11 販売した製品の使用
- Scope3 その他

● 製品の省エネ対策



- ロボット・ヘッド高速化
- ロボット・ヘッド軽量化
- エア消費量抑制
- 高効率なりニアモーター



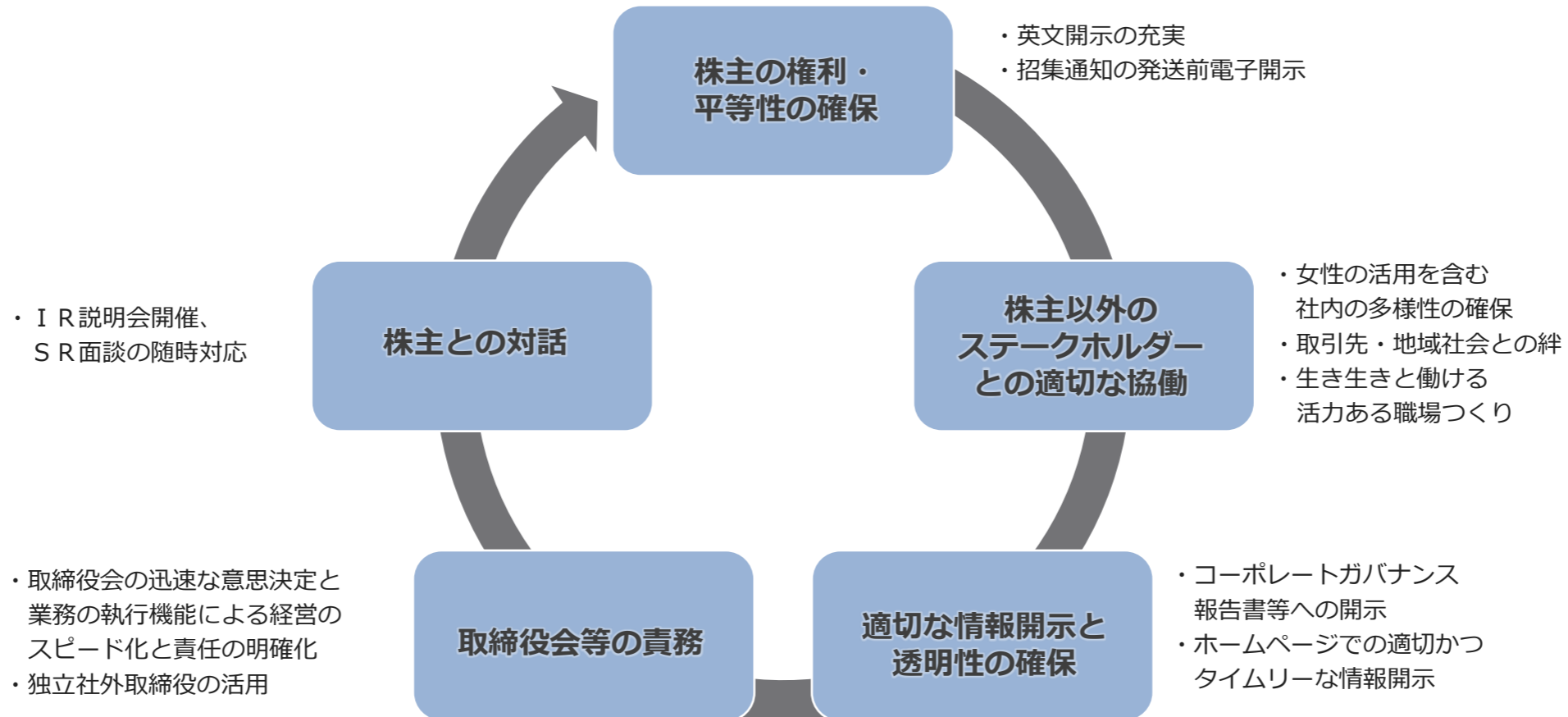
- 油圧ユニットのインバータ仕様
- スムースエコ (ローダー動作速度最適化)
- 熱変位補正

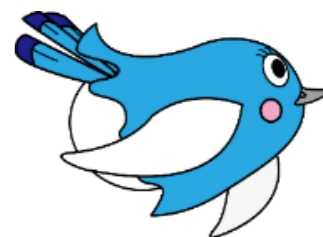
「特別奨励金スキーム」の導入について

- 2022年11月7日開催の取締役会において、インセンティブプランの導入を決定
- 「F U J I 社員持株会」を通じて当社の発行する普通株式を持株会会員に対し、特別奨励金として付与（持株会に対する第三者割当）
- 社員の経営参画意識の向上を図るとともに、社員の財産形成の一助を企図
本プランの導入を契機として、より多くの社員が株主の皆様と中長期的な価値共有を進める

コーポレートガバナンス・コード

- 当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、企業価値の向上を目指してまいります。





【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合があります。

